

## 最近の薬物事犯の摘発状況と水際対策について

### 1 過去5年間の摘発実績

区分 \ 年別		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
摘発件数		7	7	12	8	15
押収量	覚醒剤	195.71kg	83.29kg	1,314.39kg	825.61kg	310.63kg
	大麻	3.2g	0.7g	1.0g	101.9g	23.59g
	麻薬	0	86.39g	646.39g 66錠	71.31kg	115.21kg
	あへん	0	0	7.95g	0	0
	指定薬物	0	0.52g	0	0	0

注：表の数値は、当庁単独又は他機関と合同で摘発したもの。

### 2 最近の主な摘発事例

【コンテナ貨物隠匿】暴力団親交者等による覚醒剤密輸入事件（海保・警察・税関・麻取）

平成30年5月、関係機関と合同で、香港を仕出しとし、大阪港を仕向けとする海上コンテナ貨物の木枠に隠匿した覚醒剤約100キログラムを本邦へ密輸入した香港人4名及び日本人3名を覚せい剤取締法違反（営利目的輸入）で逮捕した。



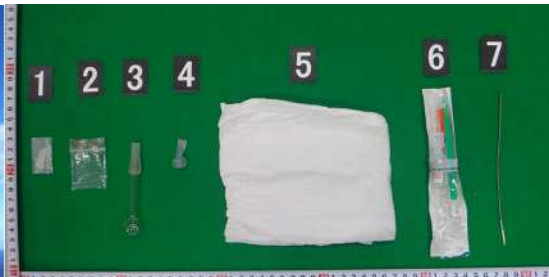
隠匿されていたコンテナ貨物

**【クルーズ船乗客による携帯】訪日外航客船乗客覚醒剤密輸入被疑事件（海保・税関）**

平成30年9月、台湾から那覇港に入港したクルーズ船を利用し、覚醒剤約0.46グラムを本邦へ密輸入した台湾人1名を覚せい剤取締法違反（輸入）で逮捕した。



クルーズ船



押収した覚醒剤

**参考【洋上瀬取り】暴力団幹部らによる覚醒剤密輸入事件（海保・警察・税関・麻取）**

平成29年8月、関係機関と合同で、漁船を利用し、茨城県沖の排他的経済水域内において、国籍不詳の船舶から覚醒剤約474kg（末端密売価格約303億円相当）を瀬取りし、茨城県ひたちなか市那珂湊港に密輸入した暴力団幹部ら20名を覚せい剤取締法違反（営利目的輸入）等で逮捕した。



押収した覚醒剤

**3 水際対策**

国内外の関係機関との連携を強化。

瀬取りが行われる可能性がある海域に巡視船艇・航空機による監視・警戒を重点的に実施。

薬物仕出地の可能性が高い地域から来航する船舶に対して、重点的な立入検査や監視を実施。